



校長室だより

月立小学校 校長 村上克弥
令和元年6月28日
☎55-2260 第3号

教育目標

ふるさとに誇りをもち
夢と希望に満ちた
心豊かでたくましい児童の育成



～本物の自然に触れて～

私が子どもの頃は、だれもが昆虫採集を行っていました。夏休み後の学校は、昆虫の標本を持った子どもたちでいっぱいでした。中身は蝉やクワガタ、カブトムシ、トンボ、蝶などたくさんの虫たちでした。昆虫採集をする子どもたちが多いためか、雑貨屋では、虫かご、たも、腐らないためのピンクの薬品(中身はなんだか分からなかったですが。)と注射針等も普通に置かれていました。それだけ、子どもたちにとって自然は、遊びの宝庫でした。

今になっても、鳥や虫、魚、動物、花、野草等に自然に目が行くのは、そのためなのでしょう。見たことのない鳥が飛んでいると、ネットや図鑑で自然に調べている自分がいるのです。

人間だけでなく、自然に接することで、気仙沼という地域、日本という国、世界、そして、地球に対して興味や関心が沸いたように思います。

そんな、地球の生き物は今現在、絶滅危惧種に認定されているものがいかに多いことでしょう。地球の温暖化や開発などによる環境破壊はありますが、人間として、子どもの頃に遊んだ昆虫採集など、自然と関わったことで多くの知恵を得たように思います。

昔は当たり前だった、ありふれていた自然。この自然が少しずつ姿を消して、その代わりに、自然を疑似体験する教材やゲームなるものが登場しています。これらも、使い方を間違わなければ、楽しく遊べるとは思いますが、これでは、本物の自然の持つ、感触を味わうことはできません。

私は、子どもには本物の自然に触れて、人も物もいたわれる、心の優しい子どもになって欲しいと願っています。

月立小学校は、自然に囲まれた素晴らしい地域。子どもたちがふるさとの自然や文化を愛しながら、より世界に目が向けられる子どもに育ててほしいと願わずにはられません。

市内体育祭 月立っ子パワー全開 6月5日(水)第13回気仙沼市立小学校体育祭が気仙沼小学校を会場に市内14校の一堂が会し、陸上競技が行われました。月立小学校の4年生以上18名は、月立っ子パワー全開に各競技や演技を行いました。そして、多くの種目に入賞することができました。また、入賞できなくても自己ベストを更新するなど素晴らしい大会になりました。約1ヶ月の練習期間、保護者の皆様には体調管理に気をつけていただくなど多くのサポートをいただきました。また、こだま隊を中心に放課後練習等に参加していただき、子ども達を支えていただきました。本当にありがとうございました。

